

岩手大学情報メディアセンター図書館 自然災害関連資料 収集・公開の取り組み



2013年3月8日 被災地図書館との情報交換会@神戸大学
岩手大学研究交流部情報メディア課
図書館資料管理グループ
榎原啓一・遠山正宏

1

1. 収集資料の現状について



- ・図書992点
(内2011年4月以降受入:781点)
- ・雑誌53点
- ・OPAC外資料712点
(行政資料, 各種報告書, チラシ等)
- ・電子資料 56点
(写真データ2,318点含む)

(2013年2月26日現在)

2

2. 対象資料について



- ・東日本大震災に関するもの
- ・東日本大震災に限らず、自然災害全般に
関する資料
(岩手県は、以前から地震, 津波, 火山, 冷害, 土砂災害
などの自然災害が多く, 学内既存の「自然災害資料活用
センター」には, 部局を超えて, 学内の自然災害研究者が
関連資料を収蔵していた。が, 未整理だった。)
→図書館収集資料と合わせて, データベース化(予定)

3

3. 収集・整理体制



- ・専任1名(非常勤)
- ・Excelでリスト管理
- ・岩手大学地域防災研究センターと協力し,
被災地における資料の収集に努めている
- ・情報源は, テレビや新聞などのマスメディア,
学会誌, 各機関のWebサイトなど
- ・学内で生産された資料は, 6部の提供を依
頼(内3部を岩手県立図書館に提供)

4

4. 2012年度の主な動き

- ・4月、図書館内に自然災害関連資料コーナーを仮設置
- ・8月、報告書、チラシ類等のOPAC非登録資料を公開
- ・10月、自然災害関連資料コーナーを正式オープン
- ・10月より、総務省「東日本大震災アーカイブ実証調査 岩手プロジェクト」に協力

5

4. 2012年度の主な動き



岩手日報 2012年10月26日 p.25

6

4. 2012年度の主な動き

- ・11月より、学内既存の「自然災害資料活用センター」の資料整理に着手
- ・2013年2月、自然災害関連資料コーナーの書架を増設
- ・2013年4月、「岩手県の自然災害に関する資料リポジトリ(仮)」公開予定

7

4. 2012年度の主な動き



▲増設後の自然災害関連資料コーナー

8

5. 岩手県の自然災害に関する 資料リポジトリ（仮）

- ・2013年4月、公開予定
- ・netcommons2とwekolにより構築
- ・電子資料だけでなく、図書・雑誌などのOPAC登録資料やチラシ・パンフレットなどのOPAC非登録の印刷資料も登録
- ・電子ファイルがない資料は、メタデータのみ
→検索結果から、OPAC所蔵詳細画面へリンク
→検索結果から、他機関の公開情報へリンク
- ・電子資料の公開範囲は、オープン＞学内限定＞非公開の3段階

5. 岩手県の自然災害に関する 資料リポジトリ（仮）



6. 今後の課題

- ・効率的な情報の入手方法
- ・効率的な資料の収集・整理方法
- ・継続性（人員、予算、スペース）
- ・関連機関との連携

ご清聴、ありがとうございました。

